

## 投資は投機である

小幡 績 (慶應義塾大学)

投資が素晴らしいことで、投機は害悪だ、というのは投資の立場からはそうであろう。しかし、投資が投資を必要とするのは、それが投機だからであって、真の投資であれば、他人に投資を推奨する必要はない。それどころか、他人に入ってこられては困るので、こっそりと自分だけ投資をするはずである。

したがって、少なくとも、流動性のある市場で取引される金融商品に対する投資とは、ほとんど投機であり、投資と投機は区別することは自由であるが、現在の投資行動においては、投機の要素を抜きには考えられない。